

第3回 特別講演・忘年会

日時：平成30年12月1日(土)
場所：松風(特別研修会)、瓢庵(忘年会)
講師：細川 隆司先生



熱田 互(東京都)



12月1日(土)、朝から専門医直前説明会、第4回理事会・第3回委員長合同会議に続き、第3回特別講演が開催されました。

細川 隆司先生(九州歯科大学歯学部長)により演題『インプラント治療におけるリスクマネージメント／学会における専門医制度について』についてご講演いただきました。

学会の専門医制度について、組織編成から内容も大きく変わることに、また、海外の口腔インプラントの歴史であるBrånemark博士とAndré Schroeder教授について、特にSchroeder教授のITIインプラントは、Leonard Linkow先生のブレードインプラントをその原点としているという非常に貴重なご講演をされました。

そして、ここ数年、大都会のきらびやかな街で開催されてきた恒例の忘年会ですが、平成最後となる今年の忘年会は、原点に戻り、久々の瓢庵での開催となりました。

笹谷専務の総合司会の元、中野 喜右人副会長の開会の辞、田中 譲治会長、井汲 憲治名誉会長、相浦 洲吉名誉会長、特別講演を賜った細川 隆司教授とご挨拶をいただき、小嶋 榮一名誉会長による乾杯のご発声で会は始まりました。

冒頭の挨拶だけでも、なんともまあ豪華な忘年会だと思いますが、特筆したいのが細川教授のご挨拶

です。教授がご卒業すぐに参加された黎明期の日本口腔インプラント学会で憧れを抱いた先生方が、当時すでに中心となってお活躍されていた故・乙部 朱門名誉会長、小嶋先生、相浦先生、井上先生方だったそうです。そして、講演をされるにあたり、当会を調べ、その先人達の作り上げてきた歴史ある会であると知り、大変驚いたとのことでした。

その先生方がご尽力されて、いまの日本口腔インプラント学会が存在しているとお話しされ、(比較的)若い会員である私にとって、あらためて先人達の偉業に触れる興味深いお話をいただくことができました。まさに日本の口腔インプラントの歴史は当会にありということを書いていただけたように感じました。

そして、忘年会と言えば！インプラントロジストなら皆が憧れる、栄えあるインプラントバカの表彰でしたが、今年は小倉 隆一先生と水口 稔之先生という納得の受賞となりました。

個人的には、小嶋先生にご挨拶に伺ったとき、「俺はバカじゃなくてインプラントキ○○イだからな、それくらいやらなければダメだぞ」というアドバイスをいただきました。自分レベルでは、どちらにもなれないので、まず普通のインプラントロジストとして、来年もしっかり患者さんのために頑張っていくと密かに決意をした次第であります。

その後、今年の専門医合格された先生方、また、新入会員の先生方のご挨拶と続き、締めは大田 善秋副会長の一本締めで盛り上がり、大変盛会となりました。

2次会はプリバードという素敵なお店、3次会は銀座でカラオケと、夜が明けるまで盛り上がり、今年の忘年会は幕を閉じました。

参加された皆様、大変お疲れ様でした！



専門医試験直前説明会

専門医試験直前説明会

日時：平成30年12月1日(土)

場所：松風 東京支社会議室



河野 出(千葉県)

平成30年12月1日午前10時30分から東京都文京区湯島の松風東京支社会議室に於いて平成31年1月14日に実施される日本口腔インプラント学会専門医試験の直前説明会が開催された。参加者は受験予定の9名と見学2名の計11名であった。田中 譲治会長の開会挨拶と受験に当たっての心構えのお話を頂き、続けて小倉 隆一専門医委員会委員長から試験の実施要領や注意事項、過去間の

検討等が行われた。当会ならではの過去受験者からの情報も多く、佐久間 栄副委員長からの適切なアドバイスもあり大いに参考になった。今回の専門医試験は申請書類の経過措置最後の年であり、学会の認定審査委員会も大幅に再編成されたとの事で、受験生は不安の多いところだが専門医委員会の皆様のご尽力で、かなりの部分で解消された。ありがとうございました。